

2008年12月1日

ランクセス、東京材料とゴム薬品販売で提携

ランクセス株式会社

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス(英語表記:LANXESS 本社:ドイツ・レバークーゼン CEO:アクセル・ハイトマン)は、東京材料株式会社(略称:東京材料 本社:東京都千代田区 代表者:関 秀樹)とゴム薬品の販売で提携することを発表しました。この提携によりランクセスは、日本を含むアジア地域においてのゴム薬品を拡販していきます。

ランクセスのゴム薬品販売は、これまで日本においてタイヤメーカーに対しては直接販売を、タイヤ以外の分野では川口化学工業株式会社(略称:川口化学)を輸入代理店として間接販売してきました。またアジア地域では、主に現地の商社を通して販売していましたが、現地の日系企業へ販売することが非常に困難であり、それが課題となっていました。このためランクセスでは、アジア地域のマーケティング戦略を見直し、川口化学との販売提携を解消し、2009年1月より新たに東京材料と販売提携を結ぶことになりました。

東京材料は、ゴム関連資材の販売を得意とし、日本の有力なゴム製品製造企業と強固な関係を持つほか、アジア地域においても9つの海外現地法人を拠点に現地ネットワークを確立しています。海外市場での成長は、東京材料の今後の目標の一つであり、ランクセスとの提携により製品構成を拡充し、日系企業へのサービス強化を図ります。

ランクセスはこの提携により、日本国内における現行の顧客に対するサービスをより効率的に提供することが可能になるほか、これまで接触できなかった潜在顧客に対しても東京材料を通して拡販します。特に東京材料のグループ企業の中には、有力なゴムコンパウンド会社も存在するため汎用品と共にスペシャルティ製品も拡販していきます。また来年4月には、特徴のある耐熱架橋剤の新製品「ブルクレン(Vulcuren®)」の国内販売体制が整うため、拡販に一層注力していきます。

ランクセスと東京材料は、アジア地域では中国を主なターゲットとして、日系企業向けのゴム薬品を販売していきます。中国では、東京材料の4つの現地法人(上海、天津、広州、香港)を拠点として日系の工業用ゴム部品製造業を中心に、日本国内のグループ親会社で承認を得た製品の拡販に注力していきます。また、グループ内のゴムコンパウンド会社向けに、ランクセスのゴム薬品全般を新たに紹介していきます。

アジア地域は、ゴム薬品の需要が新ゴム消費量の増加に伴い成長しており、現在、世界の総生産量の40%以上を消費しています(ランクセス推定)。2008年からの世界的な金融危機以降、需要が若干落ちたものの、ランクセスは、中国とインドの成長が牽引し、中長期的には着実な成長が続くと予測しています。このような成長著しいアジアの新興国では、現地企業に加え、先進国の企業がその成長を牽引しているケースが少なくなく、日系企業も重要な役割を果たしています。そして、これらの企業との関係強化がアジア地区における成長に不可欠な要素であると考えています。なお、ランクセスは、国内タイヤメーカーへの販売については、従来通り直販を維持していきます。

ゴム薬品ビジネスユニットは、パフォーマンスケミカルズ部門(2007年度売上高:19.7億ユーロ)に属しています。

#

ランクセスについて

ランクセスは、世界21カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2007年の総売上は66億1000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約15,200人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造と販売です。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認ください。www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社

コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2008-J0008J)